

3. パターンを用いたデザイン

パターンを組み合わせランゲージとして展開することで、デザインする方法を示します。

(1) デザインの方法

パターンを使ったデザインは、次の手順で行います。

1 敷地周辺の景観の特性を読みとる

周辺にどんなパターンがあるか探す



2 どのように建てれば良いかを考える

周辺の景観特性との関係性を考える



3 使えるパターンを考える

周辺のパターンと馴染みの良いパターンの中から考える



4 パターンを組み合わせでデザインする

パターンの組み合わせにより演出意図(ストーリー)を考えてデザインする

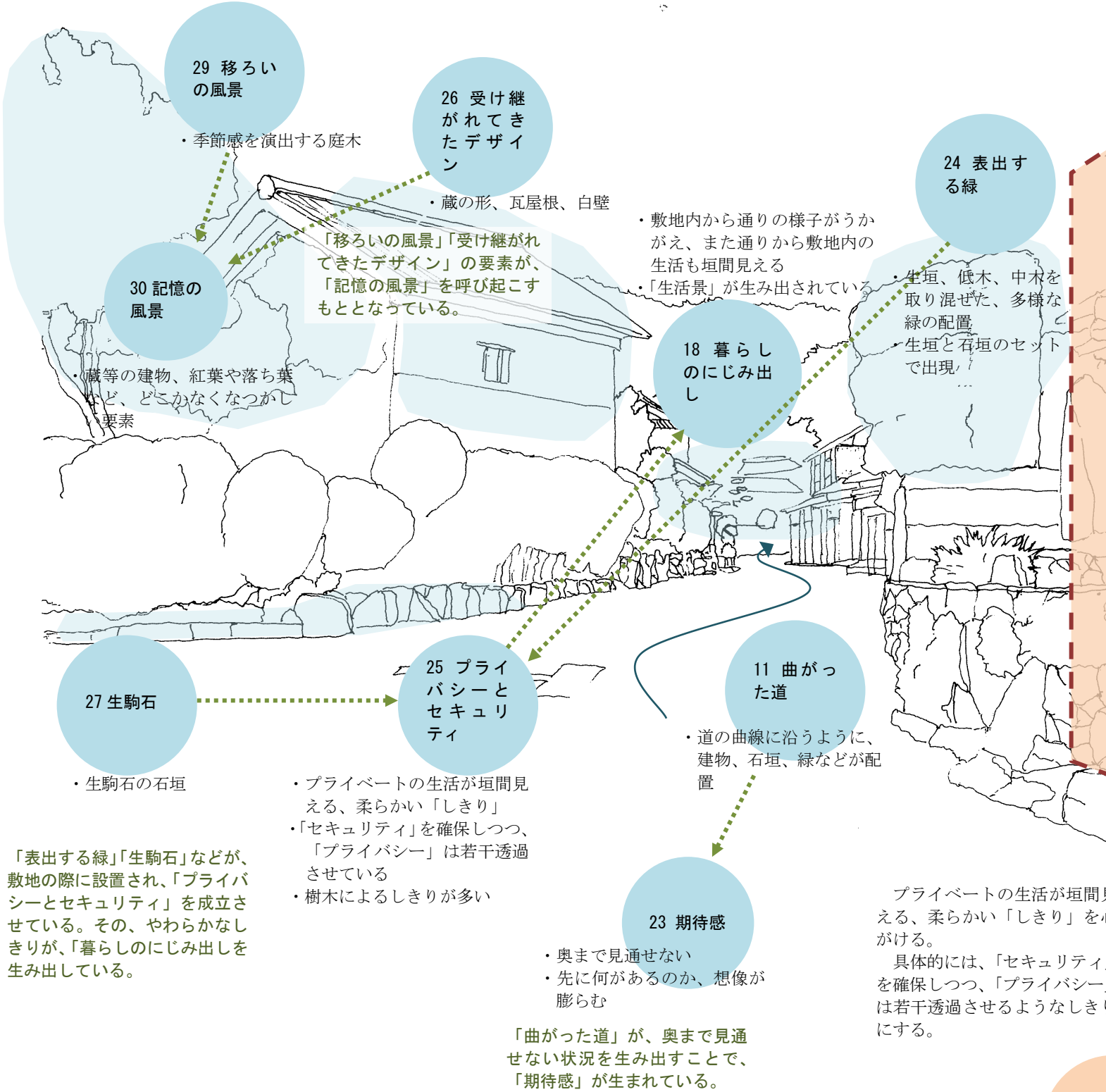
(2) ランゲージによるデザインの例

○景観的な特徴のある場所でのデザイン例

- ・ 集落
- ・ 住宅地
- ・ 商業地
- ・ 工業地 (今後追加予定)
- ・ 高山の田園風景、茶釜の風景 (今後追加予定)

集落のデザインの例

(1) 敷地周辺の景観の特性を読みとる



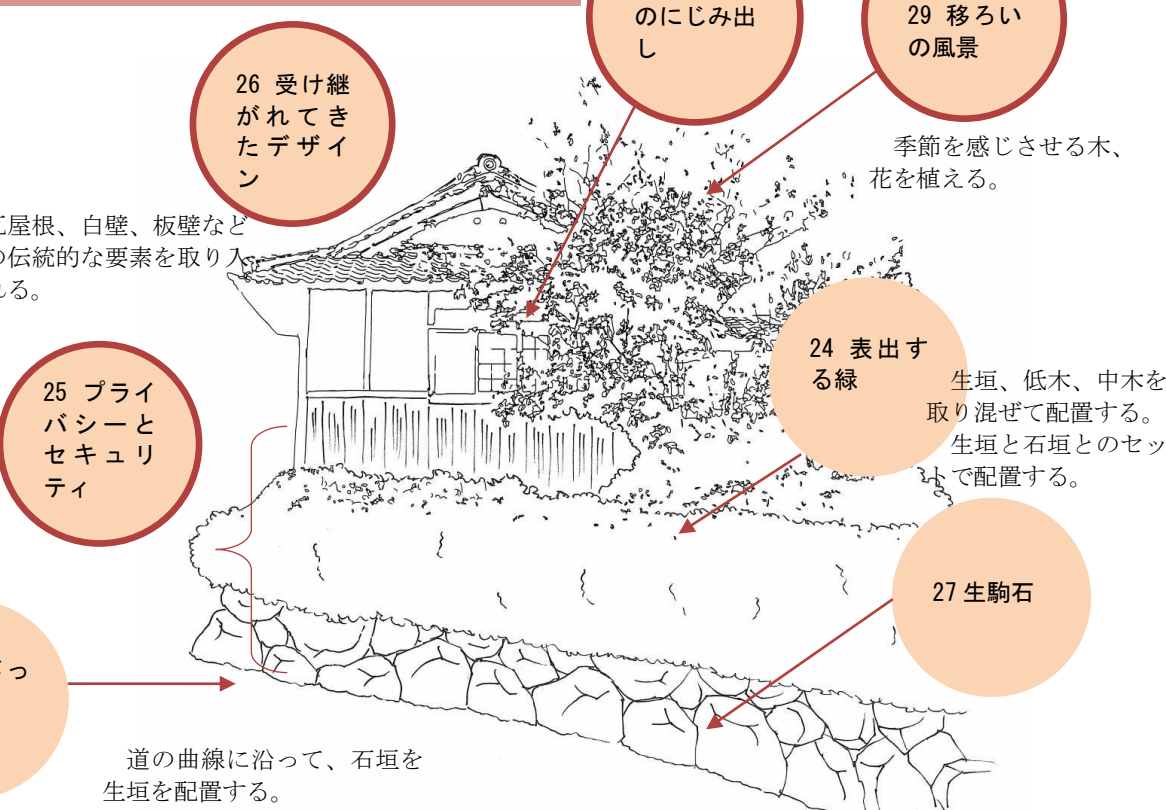
デザインを考える敷地

- (2) どのように建てれば良いかを考える
- (3) 使えるパターンを考える

- ・周りの家の雰囲気になじむ外観にしたい
(使えるパターン)
「受け継がれてきたデザイン」
- ・四季折々の変化を取り入れたい
(使えるパターン)
「移ろいの風景」
- ・ご近所さんとの付き合いもしながら、気持ちよく暮らしたい
(使えるパターン)
「プライバシーとセキュリティ」
「暮らしのにじみ出し」

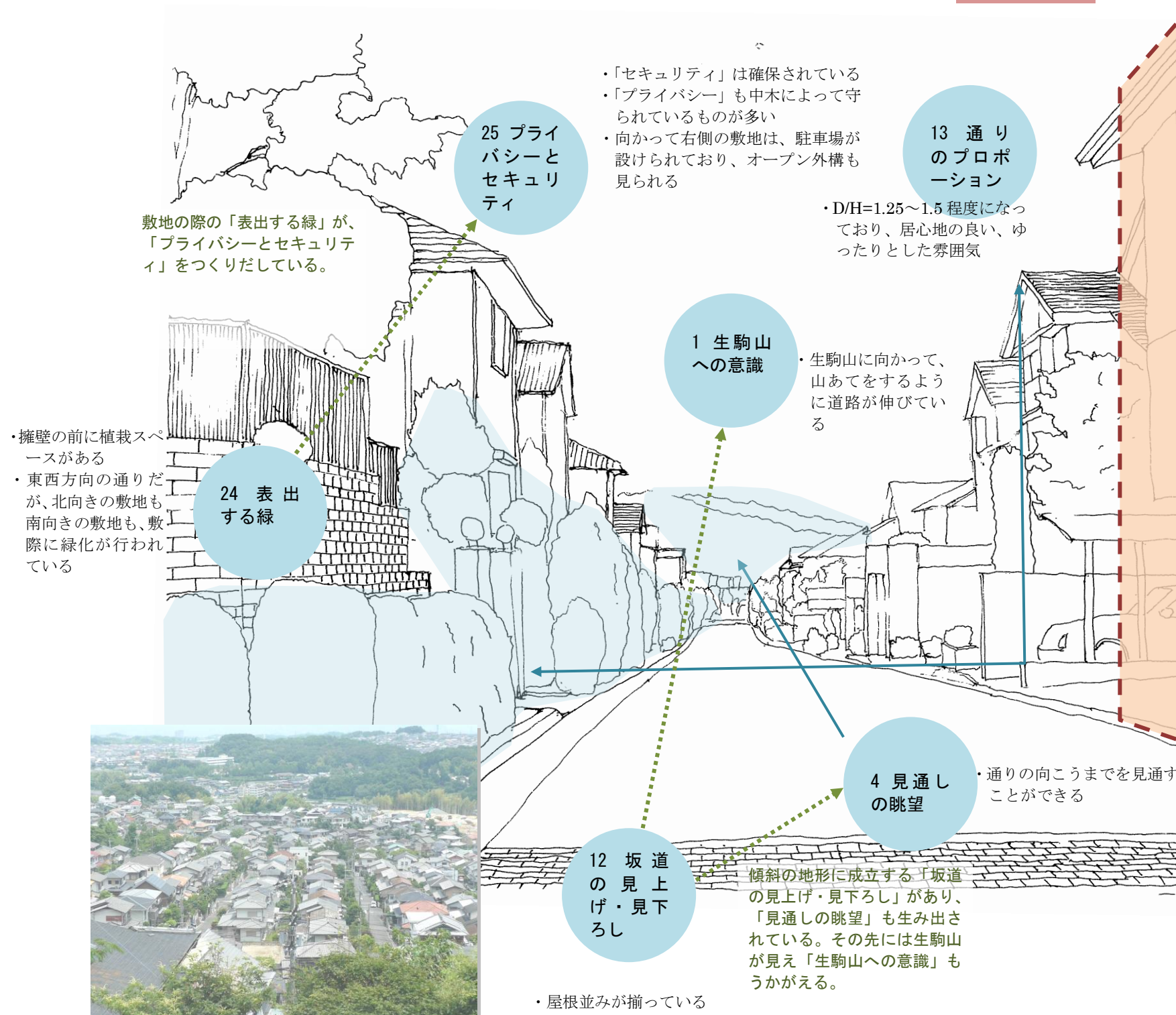
緑の配置などを工夫することにより、暮らしの気配が、敷地の外にほどよく伝わるように心がける。

(4) パターンを組み合わせてデザインする



住宅地のデザインの例

(1) 敷地周辺の景観の特性を読みとる



デザインを考える敷地

(2) どのように建てれば良いかを考える (3) 使えるパターンを考える

(4) パターンを組み合わせでデザインする

大景観の視点から読み取った、景観の特性

商業地のデザインの例

(1) 敷地周辺の景観の特性を読みとる

9 顔となる空間

- ・印象深い駅前にするための、目印となる樹木やモニュメント

10 人が交わる場所

- ・駅前という多くの人が通る場所
- ・動線や機能の配置も考慮されている

14 連歌式

- ・核となる建物との協調

17 要素の絞り込み

- ・屋外広告物を掲げる位置や大きさ等が統一され、駅前にふさわしい「すっきり」とした印象

1 生駒山への意識

- ・生駒山への視線を確保

21 アクションできる余地

- ・どんどこまつりの提灯や、冬のイルミネーションなど、演出することができる空間の余地

28 仮設の風景

- ・四季折々の行事に合わせて飾り付け

30 記憶の風景

- ・おじいちゃんおばあちゃんの頃から人が集まるにぎわいの場所だった商店街

16 商いのにじみ出し

- ・建物には、ガラスなどが用いられ、内部の様子が外部ににじみ出している
- ・商品の陳列や軒先の飾りつけがしやすいようなデザイン

13 通りのプロポーション

- ・歩く人がわくわくするような、親密な空間